

# 明中瓦版

発行 小中一貫校 彩和学園  
富田林市立明治池中学校

11月号 発行日 令和4年11月1日

## 2 学期後半戦のスタートです

校長 西田和弘

みなさまのご協力により11月1日(火)にミュージックフェスタをすばるホールにて開催することができました。ご来場いただきました保護者の皆様ありがとうございました。

今年度の取組みは、来場者の方の制限を行いながら、子どもたちはマスク着用をした合唱となりましたが、小学5年生をこれまでの「ゲスト」ではなく、「彩和学園の一員」として一緒に実施できたことは大きな成果だと思っています。

5年生は、明治池中学校の新制服を着て入学してくれる最初の学年です。エンブレム選定や学園名決定にも、他の学年とともに大いに力を発揮してくれました。中学校の合唱がどのようなものかを実感して、自分自身を成長させる貴重な機会にしてほしいです。

さて、子どもたちの成長に学校・教職員そして保護者の方はどのようにかわりを行えばよいのでしょうか。東京大学大学院の藤江教授は以下のとおり説明されています。

### 1、子どもの資質・能力を「育む」⇒△ 子どもの資質・能力を「引き出す」⇒○

子どもはもともと資質・能力を持っています。その資質能力を引き出すことを教職員や家庭で行うことが重要だと言われています。

※備わっていない資質能力を育てる(ゼロのものを1にする)のではないということです

### 2、大人からの「価値づけ」と活用のサイクルが重要

引き出し、見出した資質・能力(いわゆる子どもが培ってきた力)を周りの大人が「価値づける」ことで、子どもたちはその力を意識して活用するようになり、これらを繰り返すサイクルが大切だとも言われています。

このことのように、普段から子どもたちの成長に携わる学校や保護者の方々は、「子どもの資質能力を見出す」⇒「子どもの言動を価値づける」⇒「子どもたちが意識して活用する」⇒「子どもの資質能力を見出す」というサイクルを理解・意識しながら関わることで、子どもたちの成長の近道になるかもしれません。

**“Let's Try! 実践躬行 MEIJIKE” を合言葉に!**

彩和学園 【めざす子ども像】

「今と未来、社会でいきる自分らしさを」～すすんで「挑戦」 つづける「継続」 つながる「共生」～